わかば

発行所
社団法人　ワカバ会
東京都港区三田1—4—46
TEL　(451) 0227

一九七〇年の三田高校

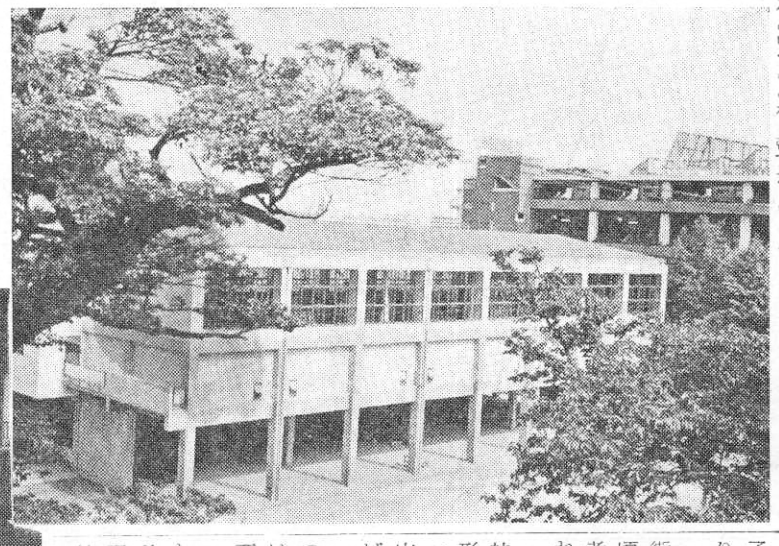
東京都立三田高等学校長
ワカバ会名誉会長　実方亀寿

今年の元旦の新聞を初め、マスコミは、一九七〇年のわが国は経済その他において目ざましい躍進を遂げることを強調している。論調という論調が、消極的ではなくて、積極的な方向を示していることは、近年ないことではなかろうか。しかし、七〇年代の幕明けが天気晴朗にして四海波静かなりというものではない。むしろ波乱万丈であるかもしれないが、上昇気流に乗ってといおうか、戦後二十余年の克服を通してといおうか、ようやく、広い国際社会の中にあって経済成長の裏付けを得て、工業技術国としての存在が明らかになると共に、アジアにおいても、その一挙手一投足が、注目されるようになってきているのである。経済的成長の著しさは何人も指摘するところであるが、七〇年代はこの成長のひずみとして、いろいろなものがある中でも、特に望ましい人間のあり方を追求して、教育の在り方を通してこれを極めていかなければならないという主張が一般化している。わが意を得た主張であると思う。世界の先進国に伍して、国際社会において、日本の在り方を求めていく上に、戦後の過ごしてきた日本人の在り方からみて、教育にかけられる重要性が、今にしてひしひしと感ぜられるからである。一昨年から、昨年にかけての大学紛争はわが国教育の歴史になかった現象を提供した。そして、これは高校に及び、東京・大阪の高校を初め、全国の高校に異常な状態をもたらした。これらに関しては、いろいろな論評があるが、私は次のような譬喩をもって説明することにしているのである。

大学紛争は、わが国戦後教育の総決算である。一般企業会社においては、毎年一回なり二回なりの決算報告が株主等になされて、企業経営の成果について検討を加え生産性の向上について種々なる工夫をこらすことが、慣習となっているが、わが教育界には、こうしたことはない。教育の成果は、五年十年にして評定し得るものではないとの解釈が、企業界と教育界とは、本来、比較すべき次元を異にするためか、決算報告に比すべきものは教育界にはない。しかし私は、大学紛争の現実を見て、正に戦後のわが国教育の総決算が問われていると受取らざるを得ないのである。

これを赤字と見るか、黒字とみるかは、人によって判断の基準が異るであろうが、いずれにしてもその結果に検討を加え、より有効な活動を促すという点については、異るべきものではないであろう。このように見てくると、小・中高校の教育の成果と大学紛争とは無縁とは考えられないし、大学紛争の直接的影響が、当然、高等学校に及ぶということも、避けることのできないでき事でもあるわけである。

昨年九月以来の東京の高校の状況は誠に深憂に堪えないものがある。然るに、わが三田高校においては、幸いにこの種の混乱がないという事実を、私どもは、一体どう解釈したらよいものであろうか。私は、本校の生徒は、こうした問題に全く無関心だとは思われない。この種の問題については過激な活動をする生徒と知識・理解と心情は全く共通と見るべきものがあるはずである。むしろ、見方によっては、何ら造反活動のないことは、こうした活動をなす以上に、大きな自己規制の力とか自己制御力を必要とするものではなかろうか。滾る心を抑えて平常心を保持することの自制力は、逸る力以上のものを必要とするのではないかとさえ考えられるのである。私は時に生徒諸君に向って、明治維新の上野の山の戦争に、書物を捨てて馳せ参じようとする慶応義塾の塾生に対して、今こそ学問を修めることの緊要を説いた福沢諭吉先生の学問の戒めを語ったり、本校に流れる稀少価値の何であるかを説くのであるが、改めて初代校長丸山先生の偉業に敬服の念を抱くものである。折に触れて、初代の丸山校長先生の偉業を讃えることにしているが、遠慮のない、この頃の高校生は、三田高校は初代の丸山先生独り輝いていて、あと歴代の校長は霞んでしまっているという。なかなかいい所を見ていると感心しながら、苦笑するのであるが、創業以来のよき伝統が、今に学校の生活に散見するのである。これを見ると、「創業は易し、されど守成は難し」ということを地でいっているとも言えそうである。私は今日の背景を背負って、本校に永い間、教職に自己のすべてをかけて来られた先輩に、改めて畏敬の念を深くするものである。丸山先生は生徒をよくかわいがられたという。いまの学園紛争の根底にあるものは、教師と生徒との人間関係であるという人がいる。改めて今日の教育の危機の中に、本校のたどってきた道を振り返って三省しなければならないと思うのである。本校に課せられた最大の課題は、この伝統と、流動変転の激しい新時代に処する創造との調和にあると断するのであるが、果していかがであろうか。教師と生徒、生徒と生徒、そして、卒業生と本校生徒、こうした一大集団の心が通い合うコミュニティを打ちたてるということが、むずかしいことではあるが、努力しなければならない方向ではないだろうか。こんなことをしみじみ考えさせられる今日この頃である。そして、在校生に今こそ勇気と誇りを持って、わが進む道を歩もうではないかと訴えているのである。



体育館が出来るまで

三田高校教諭　宮畑栄夫

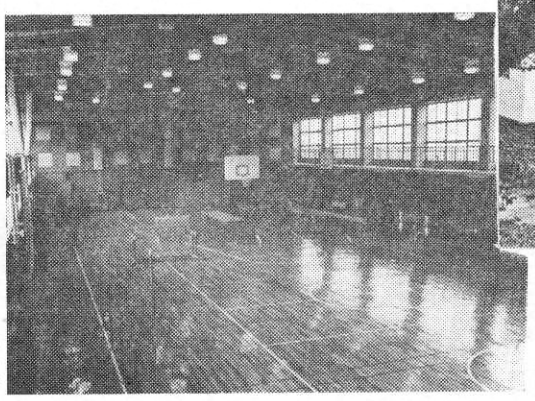
会員諸氏が在校中馴染まれた旧体育館が、大正14年以来40年間その使命を果して取りこわされたのが昨年の9月であった。その跡に、鉄筋コンクリートで、都立高校では最初のピロティー式の体育館が建てられている。

新体育館建設の件が具体化されたのは現在の実方校長が着任されてからだが、八年程前当時の今野校長に体育科の案を図面にして出したことがあり、次の西村校長は上のグランドの下を堀り抜いて体育館をはめ込む大構想を計画されていた。この西村校長の構想は、余りに大きくて都立高校では実現不可能であったが、"狭い土地を少しでも無駄にしないように"という考え方を実方校長が引き継いで、その線に沿って強力に推進して頂けたために都に前例のない新体育館ができたのだと思う。

校内では「体育館建設委員会」に落ちついた。現在地に建てる場合、体育館としての機能を果すために必要な20㍍の巾を取って、更に校庭に安全な通路を確保するためにはピロティー式しか考えられないとの結論が出た。

校内委員会で結論が出て申請をしても都の承認がおりなければ仕事にはならない。ピロティー式は普通の建物の倍近い建築費がかかるとのことである。我々は"今後向十年間多くの生徒が安全で快適な生活を送るために"堂々と無いものねだりをしてそれが承認された。

労を惜しまず協力してくれた全職員、都と我々の間で精力的に折衝の任に当られた学校長、都の関係者、そして力添えをして頂いた会員諸氏に感謝の念を捧げたい。



体育館の使用については、1在校生、2同窓生、3高体連の範囲で使用を考えています。御希望の向は事務所へ御申出下さい。

思うまま

保育園から

わかば保育園長ノエ　磯長幾子

クリスマスの集いも近く、毎日子供達は楽しそうにプレゼント作りをしています。

保育室の窓の外からは、選挙の街頭演説の声が流れ、慌しいこの頃です。本当にこども達の幸福を考え実行してくれる政治が行なわれるのはいつでしょうか。

一九七〇年は今までより以上に社会の激動が予想されます。人間形成の基礎を培うという意義をもっている乳幼児期のこども達を沢山預っている保育園では、考えねばならない事が山積です。

「幼児教育に何を望むか」も一つの大切な問題です。私達保育者は、真に幼児の人権を重んずる保育を実施したいものです。

一九六九年には、持に乳幼児にとって住みにくい時代をおもわせる事件が多すぎました。捨て子、交通事故、誘拐、虐待等今日ほど幼児の人権が侵されている時代は頭ばかりでっかくなり、足元がぐらついても気がつかないでいるような面が出ていると思われます。

幼児教育の重要性はつよく叫ばれながら、片すみにいろいろの面から追いやられているように感じられます。幼児の一人一人に児童手当を考えたり、私立の施設に手厚い援助をするとか、行財政面でもかかえる問題は沢山あります。

最近婦人の就労がますますふえそのこども達が保育に欠けるということを前提に保育園に入っています。しかしこの「欠ける」という状況を補うものとしては、保育行政の現状はあまりにも貧しく心寂しいものです。

老朽化した園舎を眺める年ごろ、二度と来ない幼児期を豊かに送らせるにはどうしたらよいかと頭を悩ます毎日です。（四四・十二記）

ないでしょう。

時代の変化とともに幼児のあそびもすっかり変りました。まわりの環境や大人の生活態度がこどもの世界にもはいりこんで、あそびまで変ってしまったようにおもわれます。保育室で椅子を高く積みあげワイワイさわぎ、「ゲバ棒どっこだよ」と得意になっている子供達、マスコミに敏感な現代のこども達について考えさせられます。どんな事でも貪欲に吸収してやまないこども達にとって大学紛争問題はたちまち「カッコイイ」どっこあそびの素材とされてしまいます。

両親の間違った幼児教育への期待も困ったものです。いきすぎた期待のもとに育てられる幼児は、無関心、放任と同じく考えさせられる問題です。いつも自分本意に考え、先走った知的面の育て方は

体育館に鏡を

ワカバ会では体育館の完成をお祝いして、高さ二〇〇センチ、巾一八〇センチの鏡一枚（十万円）を贈呈いたしました。

新しい年を迎えて

一九七〇年を迎えました。今年はあわただしい年になりそうです万博、安保、沖縄返還をめぐって喜びと悲しみが織りなす矛盾など遠くアフリカに目を向ければ、飢えに苦しむビアフラの姿があり、物価の値上りに苦しむ我々など、まだぜいたくな悩みのように思えます。

さてこの年、府立第六から三田高校に至る本校の歴史も、創立四七年を迎えました。卒業生総数一万二千名近くの大世帯です。校舎は古びたりといえど健在、プールの水は涸れることなく青く澄んでいます。体育館の完備は、上記でお知らせの通り、歴史を誇る第六・三田高校卒業生としては、三田精神の「健康」をモットーに、今年も前進を続けようではありませんか

（編集室）

第32回ワカバ会総会報告

44・4・29

次第

一、開会
一、校歌
一、名誉会長挨拶
一、会長挨拶
一、新任客員紹介
一、議事
43年度決算並事業報告
44年度予算並事業計画
評議員改選

出席会員数　四四一名

独唱　三田高校教諭　加藤恭三子
8ミリ映画（カラー）
「最近の三田高校」
高19—5関根　誠
落語
写真展示
模擬店

第三十二会総会は企画、運営をすべて若い卒業生に依頼いたしましたところ、大へん熱心に計画をたて成功裡に楽しい一日を過しました。

44年度ワカバ会費をお納めください

34年度～44年度未納の方は左記要項でお送りください

34年度～39年度分　年一〇〇円
40年度以降　年二〇〇円
終身会費　三、六〇〇円

但し今までにお納めの分はさしひきます。以前にまとめてお納めの九〇〇円は終身会費ではありません。

ご不明の点はお問合せください（電話四五一—〇二二七）

高校十八回（41年3月卒）以降の方は終身会費お納めずみですから不要です。

送り先　東京都港区三田一—四—四六
振替　東京八一一七〇番

社団法人　ワカバ会

ワカバ会講習

ピアノ	木曜日	一、五〇〇円
バイオリン	火曜日	一、五〇〇円
箏曲（山田流）	土曜日	一、五〇〇円
いけ花（小原流）	月曜日	八〇〇円
バレエ	火・土曜日	二、〇〇〇円

入会金一、〇〇〇円（但しワカバ会員は半額）

名簿係から

○住所、住居表示、電話番号などの変更および郵便番号をその都度おしらせください。
○封筒の住所、郵便番号が違っておりましたら早速、ワカバ会宛お知らせください。
○ワカバ会への連絡には、卒業回数、クラス名、旧姓をも必ずはっきりと書いてください。

東京都港区三田一—四—四六（電四五一—〇二二七）
社団法人　ワカバ会

山荘利用規定

利用者資格および宿泊料

正会員（本校卒業生）	九五〇円
客員（本校現旧職員）	九五〇円
準会員（本校生徒）	八〇〇円
会友（正会員、客員の家族）	一、一〇〇円
準会友（正会員、客員の友人）	一、二〇〇円

但し準会友は正会員、客員の紹介が必要

44年度利用状況

5月64名	6月30名	7月80名	
8月28名	9月40名	10月27名	
11月14名		計339名	

◎三月までは閉鎖していますが、四月からオープンいたしますので級会、グループの集り、御家族通れで御利用ください。御申込みはワカバ会に。（電四五一—〇二二七）

◎クラス委員の方へお願い

クラス会の時におあつめくださるようお願いいたします。

知らない世界に飛びこんで

高17―7　浜中　千鶴子

十月七日新しい「世界の音楽」になって第一回目の放送が終ると同時に私の家の電話は鳴りっ放しになりました。十年以上も前、ご近所に住んでいたおばさん、小学校から大学までの先生や友人達からの電話に、録画した時以上の緊張で気分が悪くなっていた私は、一辺に元気づいてしまいました。

今春、立教大学日本文学科を卒業しても、なおかつ夏休み冬休みという言葉のもつ魔力からのがれられずに研究室に居残ってしまったのですが、五月に入ったある日、私の勤める一般教育人文社会科研究室の主任教授、皆川達夫先生に頼まれて、教育テレビ中学校向け学校放送「芸術の窓」にちょこっと出演いたしました。どんな役かといえば、先生のお話しを中学生代表みたいな顔をして聞いている役でまさに私の適役であったわけです。はじめてテレビに写る自分の顔に、もうちょっとはましに写るかと思っていた期待は無残に裏切られたのですが、それでもテレビに出たということだけで結構ほこほこと喜んでいたものです。そしてそんなこともだいぶ忘れかけ、海に行く計画を弟と相談していた夏休みに入ったある晩、突然、NHK「世界の音楽」のプロデューサーと名のる男の人から電話がかかってきました。彼は「番組の中に登場するマスコットのお姉チャンを探しているのですけれど、オーディションをしてみたいから一度録画を見にいらっしゃいませんか？」「世界の音楽」と聞いただけで私はうれしくなりました。なにしろずっと以前から毎週楽しみにしている番組で公開録画をみたいものだとつねづね思っていたのです。それで私はオーディションなるものがどんなものなのかもしらず、ひたすら立川澄人やデュークエイセスの顔を近くでみられるという単純な喜びにひたってNHKホールに出かけました。

さてホールに着くと予想に反して私は客席に通されず、副調整室とかいうテレビモニターの一杯並んだ部屋に案内され、番組が終るまでに一分間のスピーチを考えること、という課題を出されてしまったのです。これじゃ約束がちがう！第一、一分間で一体何がしゃべれる？三田高校のあの"お話しの時間"ですら三分間だったはず。さてどうしょう。

お客様が全部引き上げた、ガランとしたホールにつれ出された私はまたびっくりしました。私と同じ年頃の女性ばかり八、九人あちらの柱のかげ、こちらの柱の後からそろそろと出てきたではありませんか。中にはテレビでよく見かける顔もいくつか混っていて、私はこの人達と試験されるんだなぁ、そう感じて、家に逃げ帰りたくなってしまいました。ところが時すでに遅く、なんと私の名前がまっ先に呼ばれて私は立川さんの隣りに立たされました。「ピーナッツと南京豆と落花生はどう違います？」エトセトラ。そして「一分間好きなことをしゃべって下さい。」テレビカメラが接近し、ライトが照りつけ、客席にはストップウォッチを持った男の人がずらり。悪夢のような一分間、私はつじつまの合わないことを口走り、もう一分たちましたか、とべそをかき次の人が呼ばれました。彼女はまずカメラに向ってにっこりとほほえみかけ、「○山×子です。どーぞよろしく」私はもうダメだと思いました。次々と出てくる彼女達の一分間スピーチの上手なこと。中には自作の詩を口ずさむ人までいるのです。

「行くんじゃなかった。」と後悔して不気嫌になっていた八月もま近なある日「あなたに決まりました。」と電話があったのです。

なんでも、学校放送に出たのを世界の音楽の隣りの部屋にいるディレクターが見ていて、候補者の一人に加えられたのだそうです。六週間ほど続けてオーディションを行なったとあとからきかされました。

それからのことは、……マスコットとしてチラリチラリと画面に登場しているワケです。

茶の間からいきなりブラウン管の中に飛び入りしてみて知ったのは、週刊誌やテレビでみていただけだと大変はなやかにみえるこの世界が、意外と地味できびしい所だということです。私は「世界の音楽」だけしかしりませんが、その中でも歌手の方や演奏をなさる方達の真剣さは大変なものです。私はどくまれに無理矢理お箏を弾かされてどきどきするほかは「上手にやろうと思うな」と皆さんからいわれているので割合と気が楽なわけです。なにしろ大好きな音楽を生で、しかもごく身近に聞けるのですからこたえられません。レギュラーメンバーの立川さん、森先生、佐良さん、デュークさん、みなさんいい方ばかりで、芸能界の事なぞ何も知らない私も同じように仲間に入れて付き合って下さいます。ブラウン管からみているよりもうんと気さくで愉快な方達だということを付け加えておきます。立川、森先生はお二人とも歌う前はどんなにお腹が空いていてもお食事をなさいません。私はいくら食べても太らない体質なのでひまさえあれば食堂に行って食事をするようにしています。そんな私をみてお二人は「あ、また食べている。」と横眼でにらんで、おいしくない局のケーキと紅茶をすすっていらっしゃいます。佐良さんは頭の回転が早くてダジャレの名人。旦下、毎週木、金曜日の録画の日は私にとって大変楽しい日です。

大学の研究室の勤めもあり、お箏も教えて学校放送の方のお仕事もして、と息つくひまもなく一週間が過きてゆきます。それにつけても同級生達がバッタバッタと"彼"なるものを見つけ「この度△△氏のご媒酌により…」などというまことにおめでたい葉書がまいこむ秋ともなると、一人身の淋しさはかくすべくもなく「あーあいつまでも親の電話で祝電ばっかし打っているようではしょうがないナア」と嘆息も出ようというものです。

沖縄も返還されることだし、そろそろ人並みに……とも思うのですが、いそがしいままに飛び回っていその方はおろそかになって今年も暮れようにしています。来年こそはノと期待に薄い胸をせい一杯ふくらませているのですけど。

（四四・十二）

写真は立川澄人さんと

あるクラス会ミニミニ録音

「つれあいが亡くなった時のお香奠一人五〇〇円づつ集めるんだって」「いよいよ心細くなってきたわね」

「孫がうまれるってのに、相変らず若いわね」

「赤い色がにあう年ごろになったわよ。カンレキが近ずいたショーコかもね」

「気だけは学生時代とちっとも変らないつもりだけど、体がいうことをきかなくなってきたの。立上るときに、ヨイショと声が出るわ」

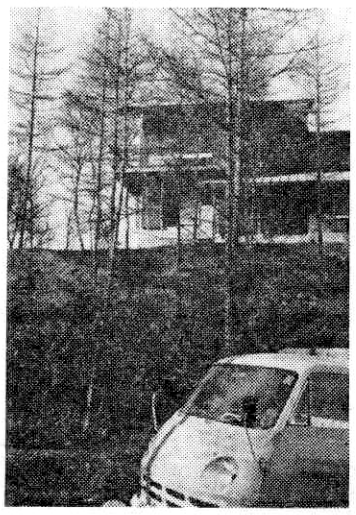
「ヨイショは四〇代よ。五〇をすぎるとドッコイショになるって」

軽井沢日記

高19―6　有沢　博

八月五日

東京から列車で二時間という距離にあって軽井沢は別天地である。ニュータウンのゲートをくぐって唐松通りをしばらく登ると、さやわかな鳥の声、両側一面の緑にほっと息をつく。そうした小高い一角、白樺と唐松の密生した中に我々の山荘は小じんまりと立っていた。滞在者は意外に少なく、我々一行七人の他に四人程。ホールで話していてもひっそりとした感じがする。一休みしてからそろって近くにサイクリング（出）。気温二十二度。風がカラッとしていて気持良い。きょうはニュータウン内とその周辺をひとまわりする。ここ軽井沢レイクニュータウンは会員制別地荘で市内に大きな人造池を持ち、プール、テニスコート、アーチェリー場、ショッピングセンター等の施設も備えている。山荘に戻ってきやかな夕食。心のこもった料理は運動のあとでもあるので大変おいしい。特に山菜料理のすがすがしい味がまた格別であった。おひつごとおかわりして感激（？）された。夜、グループの女性二人とたくさん買込んだリンゴを食べながら談笑。軽井沢の夜はしのぎやすい。



八月六日

朝、暗いうちに起きて鳥の声を録音しに外に出た。寒いくらいである。マイクをかまえて待っていると驚くほど近くでいろいろな鳥がその美声をきそいあうかのように鳴きだした。うぐいすの「谷渡り」が持にきれいにとれたようだ。さらに淡いピンク色に輝く夜明けの景色を八ミリフィルムにおさめる。きょうはドライブに出ることにした。この附近は道路が整備されているので快適である。短時間で行ける鬼押出し、浅間牧場照月湖等を回り、最後に碓氷峠の展望台に登ってあたりを一時間ばかり歩き回った。人が少なく、景色も良かった。軽井沢近辺には一日つぶす覚悟で出かければ変化のあるハイキングを楽しめる所がたくさんありそうだ。浅間に登るのも面白いだろう。五時、山荘に戻ってゆっくりおフロにはいる。夕食後、山荘のまわりを皆で散歩した。市街から離れているので空が暗い。小学校の頃一心に名を憶えた星々と久しぶりに再会した。

八月七日

きょうで快適な山荘の生活ともお別れである。午前中目的のひとつである八ミリ映画の予定分の撮影を済ませ、残りの時間、ボート卓球などで過ごした。山荘での生活は暑苦しい都会の生活の中に見失っていたものをとり戻すゆとりを与えてくれたようだ。ゆっくりくつろげる所、またすぐに来たくなる所というのは我々七人共通の印象である。千坪の土地に建っている二十人収容のワカバ会山荘はまだまだ余裕たっぷりである。春も秋も夏に増して美しいが利用者は少ないと聞いた。そういう頃に一人で訪れる山荘もまたすばらしいものであろう。

村上先生こんにちは

高4―5　杉山　幸江

母校第六・三田高と昭和九年から三十八年まで教鞭をとられた村上先生を訪問する。

現在二階堂学園日本女子体育短大の寮監として烏山の紫苑寮におられる。冬の太陽がすっかり沈み黒く染った道を右手に林の影をみながら大学の門を入る。ハキハキと応答してくれた生徒に続いて二階からおりていらした先生はあの大きい目ときりっと束ねた髪と少しお顔の皺が増えたかと思うほどで、記憶の中にあるそのままのお姿なのに驚きと喜びを感じる。狭いけれどと恐縮なさる先生のことばに遠慮なくお部屋に入る。道具いっぱいの部屋である。長椅子の上で遊ぶチビ猫二匹、ストーブの前にゆったり足を投げだしている猫、つまり母猫ミーコを中心に七匹が同居している。懐しい昔話から始まりアルバムを見ながら何千何万人のひとりであるはずの友人たちの名前が口をついでてくる。またまた先生のご健在をみる思いがする。寮監の仕事を主軸として日本女子体育連盟の顧問の役をもっていられる。これもことし日本で開催された国際会議に副会長の重責で出席され、その後長年ご親交のあった戸倉会長の逝去により時流を考え若い世代に道をゆずられた謙虚な姿である。学生時代ロスアンゼルスに三年間学ぶうち習得した英語を機会あるごとに駆使なさり、伏目がちに静かに話される先生から想像できない位の活躍をしていられる。外国もほとんどまわられた由

棚の上にはご自分で写されたスライドが箱に納まり、韓国の友人、アメリカの友人たちからの楽しい手製カードなど届いたばかりのがテーブルにのっている。若い寮監補佐のボーナスの交渉、就職期の生徒への心くばり、アドバイス。一〇五名の娘をじっと見守っているようすがうかがわれる。若い人の心を知るためにカウンセラーの研究会にも出席なさる。健康法はとおたずねすると、「歩くことです。」とおっしゃる。「二階堂学長先生はことし八十八歳ですけれど大寒の日におこなわれる明治神宮までの六キロマラソンを今でも先頭で出発なさるのですよ。ですから私などまだまだね。毎日大股で十分は歩くといいそうですよ。私は猫の生魚を買いに千歳烏山の店まで歩きますの。それに五十円のさかな代に六十円のバス代ばつまらないでしょ。」と笑いながらおっしゃる。とても意気軒昂でいられる。

かたわらのミーコの乳をさぐりに来っ子のチビがモソモソしている。長男のハッピーは母親をけんめいになめていたわっているようにみえる。なんとも情感のある光景に私はこの四帖半のほのぼのとした暖かさが身にしみるのを感ずる。午後九時、寮生の默読（勉強）が終りにぎやかにろうかの雑巾がけの音がする。十時の消燈までに一日の報告をきく先生のお仕事が始まる。すっかり長居させていただいた私は背を少し丸めて歩かれる先生と並び凍てつく道を辞した。

（写真は国際会議に出席されたときの村上先生）

ヘーグにて

20ウ　橋田　照子

主人の転任でこちらに参りましてから、四カ月にもなり、週五日制のためか、日々がアッという間に終っていく感じです。

子供たちも元気にアメリカン・スクールに通い、宿題や試験から解放されて皆コロコロ肥りました。車も人もずっと少ないので、ドライブするのも右側通行にさえなればかえって楽です。英語の通じないお店の買物には苦労いたしましたが、ご近所の英国人の奥様にとても親切に教えていただいております。物価も日本より安く、果物が豊富です。音楽会も驚くほど安く、しばしばナマの音楽をきき感激しております。会員の方がこちらにいらっしゃるようでしたら、私もお役にたちたく存じますのでお知らせ下さいませ。

Mr. Teruko Hashida
6Van Wouwsffraaf
The Haque Holland
Tel ヘーグ
(070) 243548

わかばのみなさん!!

より若く美くしく
健康であるために
楽しくお仕事をなさいませんか

▲業界最高の待遇
▲自由な出勤
▲高収入、年金支給、退職金等……
▲厚生施設・箱根、軽井沢、伊豆、上林……
北海道、九州……

先輩、後輩の方達も大勢いらっしゃいます
一度是非事務所に御連絡下さいませ

第一生命東京西支社（新宿西口）新宿区角筈2－93
TEL（342）0251～5　内線255
中野支部長　土屋　房子（14エ）

秘密

安田　恵美（在校生）

銀色の冷たい月から
金色のとんがった
星ができる
（その星はとても熱いんです）
これ……秘密です

ずっとずっと昔から
海は本当は透明だ
（空の青を映してるんです）
これ……秘密です

よろず相談

結婚などのご相談を承っております。毎週木曜、土曜（午後一時から午後四時）に係がワカバ会館におりますからどうぞ御利用ください。

実費として一件につき三〇〇円いただきます。

成立の時の謝礼は適宜。

或る同窓生の生活 (4)

門川美代子さんを訪ねて

——現在のお仕事は？

「放送作家という肩書がついていますけど、細々と文筆業をいとなんでおります。かくことなら、なんでも……恥もかけば背中もかきます。」

——もとはたしか映画雑誌の記者でいらしたとか、今でも映画はどらんになりますか？

「ええ、好きです。淀川長治さんが編集長をしていらした『映画の友』におりました。その頃は年に四百本ぐらい見ていましたが、今では月に二本ぐらいしか見ません。でも映画が仕事ではなく、純粋のたのしみとなっている現在の方が、より楽しいです。ファーストシーンの音楽がはじまると、どんな映画でも涙がジーンと出るほど感激します。映画いいですね、面白いですね。さあ、みなさんと御一緒に、今日の写真見ましょうさ、写真見せて下さい……と淀川さんならいうところ」

——どうしてそんな好きな映画をやめて放送に転向なさったんですか？

「結婚で映画雑誌社をやめて、離婚後、生計をたてるために、他に能がないものですからこの仕事にしがみついてきました」

——離婚はショックだったでしょうね。

「ええ、子供のために離婚したくないと思い、また子供のために屈辱に耐えられないと思いました。でも結局、これで良かったのだと思います。私のところによく、離婚した方が悩みを打ちあけに見えますが、私、いつもこういうんです。『夫があって悩んでいる人の方が、夫がなくて悩んでいる人よりずっと多いんだから』って。」

——再婚はしないんですか？

「随分、独身だとPRしたんですけど、家なし、カーなし、コブつきでは、相手にされなくて……。冗談はともかく、性格として、男に甘く、つくし型の古い女ですから、今からそれをやるのは、とても憶劫です。うちにいる十六才の若旦那一人でも、もてあましています。」

——去年の夏、大病をされたとかもうすっかりいいんですか？

「ええ、現在は頭以外に悪いところはありません。去年の五月に、子宮ガンの手術をしました。ガンといわれたときは、さすがに慌てました。更年期障害ぐらいに軽く考えていたので。でもガンといっても、早く発見すればこわくはない病気ですね、ことに子宮ガンは」

——症状はどんなふうにあらわれるんですか。

「生理が狂ったので、気がついたんです。くわしくは個人的に御相談にのります。お医者に行くのがいやな方は、私の経験から知識をお教えします。でも、何といっても、少しでもおかしいと思ったら病院にいくことよ。恥しがらず、ためらわず、すぐ診察を受けることね」

——本を出版されたとききましたが、ガンに関係する本ですか？

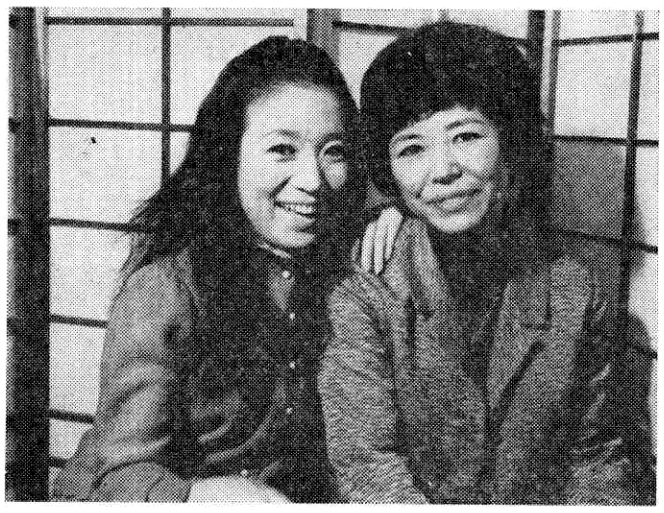
「いいえ、全然関係ありません。ラジオの脚本を読物にまとめたものです。『ひとつ、妻たるものは』という、夫と妻のためのものです女房失格なのにすみません。すみませんついでにPRさせてね、定価七〇〇円、お申込みは、四六一・一三八九、門川あてに。妻たるものは、という夫から妻への注文ですが、むしろ、夫に読んでいただきたいと思います」

——どんな男性が好きですか？

「私の？個人的好みですか？　背が高くて、オッチョコチョイで、ハンサムが好きです。男性を見る目がないことは、自分でもよく知っています。ダメな人です」

——クラスメートにお会いになることがありますか？

「ええ、家族同志でおつきあいしてる方も沢山います。遠慮がなくてズケズケいえていい人たちばかり、私は夫には恵まれていませんでしたが友達には恵まれています私たちって戦争直前の卒業でしょですから、卒業して慌てて結婚した人や、御主人が戦死された人やそれから婚期がおくれて独身や、いろいろです。孫が出来る人もいれば、子供がまだ小学生といったケースもあって、女性の生き方に戦争が反映している時代といえるんじゃないかしら。第六精神をまっとうして丈夫で長持ちだけは共通だけど……」



(写真は中村メイコさんと)

新旧三田高校気質

母　12イ　村上　和子

娘　高3年5組村上なつみ

母　ママは姉妹三人とも第六ムードの中で育ったし、あなたは、高2のとき、札幌から転居して三田高校に転入したんだから、学校に対する愛着ってものが、多少はちがうと思うけど、愛校心ってある？

娘　愛校心ってママよりは少ないかもしれないわね、例えば伝統に対して受けつぎたい気持もあるし、反撥したい気もあるし…。でも、これは私だけでなく、一般にいえることなのよ、口には出さないけど、日比谷に入りたかったけれど、仕方がない、ここでよくしようって人も多勢いるんだし…。

母　ママにはそれが一番、腹の立つことなんだけど。三田をめざしてではなく学校群のためにまわされた、そういう話をきくと、いやな気がするわ。

娘　受験のための一段階、学校出たら学校とは関係ないって、ハッキリしてるわね。

母　愛校心とか、愛国心とかがうすいってことは、三田に限ったことじゃないのでしょうね。で、伝統ってものは、どんなときに感じる？

娘　のんびりムードってものかな。オットリしてるって感じ。勉強とか思想とかも、事をあらだてないで、円満にやるって感じだし

母　のんびりムードっていい面なのかしら、それとも軟弱かしら

娘　半々じゃないかしら（笑）

母　見た目は余裕たっぷりね、ガッガッしないで。

娘　スポーツにしても、みんなが一生懸命やって楽しんでるけど選手で活躍するってことはない。

母　選手をつくらないのは、丸山先生の方針だったのよ、学校の規則はどうなの？

娘　規則って別にないみたい。

母　規則があった方がやさしいと思わない？しちゃいけないことをしなきゃいいんだから。自由の方がむずかしいと思わない？

娘　昔はお嬢様育ちで、わからない人が多かったから、規則もきびしくなきゃいけなかったんでしょう？今の人、世の中に近いところにいるでしょう、ママたちとちがって。

母　世間を知らなかった、たしかにそれはあるわね。

娘　服装でも、一応制服はあるけど、何もおっしゃらないわよ。良識にまかせてってことよ、高校生として恥かしくない程度に。

母　めったに昔の制服の方におめにかからないわね。ママたちの頃は、卒業式のあと、銀座に行くってことが、学校を出て大人になったってことで、あの開放感は忘れられないわ。制服にしても、ほんのちょっとスカートを短くしたり、ウエストをつめるのが、ささやかな反抗であり、おしゃれだったのよ。たまに学校に行ってみるけど、お掃除が悪いわね、男の子がいるせいかしら。

娘　今でも一斉掃除ってあるのよ。お掃除してるわ。でも、学校をみがきあげてきれいにしようってより自分たちが不愉快でない程度……勉強はちゃんとしても、他のことはこまかくないみたい。

母　男の子と手紙を交換するってことある？

娘　手紙？そんなまだるこしいことしないわ、ジカ談判よ。

母　ママたちの頃は、Sっていって、下駄箱に手紙が入ってたりしたもんだわ。好きな男の子と仲良くなりたいときなんか、どうするの、誰かに頼むとか……

娘　よっぽど気の小さい人はね（笑）

母　みんなしっかりしてるのね

娘　しっかりしてるわ。だから卒業してもガラリと変ることはないと思うわ。

母　あなたは卒業したらアメリカに留学に行くけど、その点でママは安心してるの、どんな世界にいってももおじしないという点で、ママより はるかに 大人だから……

うふ……

おかしい？

ううん……

わからないわ

わからないわ

わからないわ

生きるということが

いつになったら休まるの

いつになったらわかるの

何故？

どうして？

どうやって生きたらいいの

教えてほしい

涙をもう一度

渡辺　啓子（在校生）

忘れてしまったの

あの時の涙を

忘れてしまったの

おまえのほほをぬらした

あの涙を

あれはおまえの心の

真の叫びだ

おまえの涙は

もう一つの涙をさそい

ふたつの涙は

この地におちていった

忘れてしまった

あの涙は何なのか

忘れてしまったの

私と私との対話

浅野真知子（在校生）

何をしてるの？

考えてるの

生きるということを

第18回ワカバ会旅行会報告

昭和四十四年秋、第十八回目の旅行を山陰方面に左記のように行ないました。

十月二十九日　夜行寝台（出雲）

一泊

三十日　鳥取着—砂丘—松江一泊

三十一日　松江城—菅田庵—出雲大社—日御崎—玉造温泉

十一月一日　大山寺—紅葉見物—奥津渓谷—奥津温泉一泊

二日　津山—大阪—新幹線で帰京。

これまでの中で一番長い旅行でしたが、全員（九十一名）元気に楽しい旅行をいたしました。殊に美しい風景と共に山陰地方のおいしい松葉がにをはじめ、数々の味覚を満喫いたしました。

春の旅行は五月半ばに能登半島—金沢方面に決定しております。

ワカバ会さん〃

ワカバ会が生れて四十七才、もう初老の年令である。古い卒業生もおばあちゃん業が身について、逢えば孫の話に花が咲き目尻を下げることが多くなったようである。しかし、第六時代に鍛えた精神はハツラツとして老いを知らないはず。脚のマラソンはもう駄目であるが、生活のマラソンには自信がある連中ばかり集っている。物の考え方も決して老いぼれてはいないらしく、若い卒業生と話しても大へん楽しい。丸山先生が精神と肉体の訓練を混然一つとしたきめの細かい教育を行なわれたその成果を私共卒業生はいつも大切にしている。精神と肉体の若さは共に歩くものであるから—。

ワカバ会さん、卒業生さん、元気で行きましょう。（編集室）

GUEST CORNER

芳村　真理

ある夜のハプニング

月曜日の夜のフジTVの控え室は、こった返し、前武さんと私は、別々に部屋をとってもらってありますが、打合せなどで一緒にいる方が便利なので、着換えの他は…着換えたって前武さんの方は、

「真理ちゃん、ごめんよ、一寸、後向いてて」

後向いたって、鏡にうつるドテッ腹。

「あら、ニューワンの背広じゃないの、箱から出したて！」

「ちがうよ、もうこれ着て舞妓はんと歩いた。ウイスキー貰ったよ飲もうか」

「およしなさい、本番前に不謹慎です」

「真理も世話女房になったな、面白くない」

といった調子でその間に、台本の訂正、キャメラ前の位置の確認、ディレクターからの注文…。

「前田さん、ゲストは素人のお嬢さんですからあまり、イビらないで下さい」

「わかってるよ、僕だって常識はあるよ」

「本番一分前です、いそいで下さい」

「まだ間に合うけど、でも走ろうか？」

というわけで、カワウソとナマズのコンビが廊下を走る姿が見られるんですけど。

そんなある夜「夜のヒットスタジオ」が終ってすぐ次のナイトショーは見ものでした。ヒットスタージオが若者向きなら、ナイトショーは大人の番組、二人ともそれぞれ夜の番組にふさわしくドレスアップして出たものです。

ところがこれがとんだハプニングで……というのは、前衛芸術家たちのお祭りみたいなものだったのですが、リハーサル中には打合せだけでやらなかった場面が、イザ、本番でフタをあけてみると、すきましいことになってしまいました。

絵具をたっぷりつけた鶏が、異様な声をあげてとびかう。スタジオ中、タイマツのように火をつける、テレビの画面外ではガードマンが消火器を抱えて右往左往し、スタジオ内は、黒煙と、油煙とともに散る絵具で、火事場のあとみたいになってしまいました。歌手は煙にむせてゴホンゴホン、私も前田さんも、新らしい洋服の肩はススだらけ、鼻の穴はマックロ。

ゲストの桂三枝さんなど、おしゃれな人だけに、真白な背広でしたから、例の「オモシローイ」も出ず「ヒャア、かなわんわ」とハンケチで鼻をおさえています。

ナマ番組の面白さは、こういう思わぬハプニングにあるようですがそれにしても強烈な一時間でした。煙りにむせ、ススにまみれて控え室にもどり、前田さんは新らしい真白なハンカチで顔をふいていました。中村晃子ちゃんが、彼の恋人に選ばれて泣き出したとき以来、彼はいつも新らしいハンカチをもっていますが、そのハンカチで……。

ナマ番組だからこそ、いろいろなハプニングがありますが、人生にも思いがけないことがおこるもの、と、最後は若い方々に教訓がましいことをいって、ナマズのおしゃべりを終ります。

写真は前田武彦さんと芳村真理さん

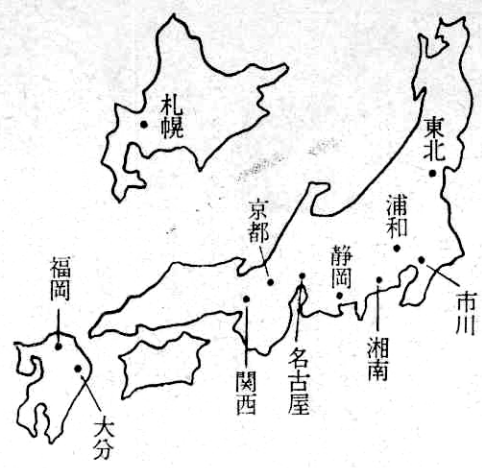
桐たんすと和風家具
御婚礼洋家具セット
卸　元
桐の名門 代々桐匠 相徳（あいとく）
東京港区三田通太陽銀行真前
電話(03)451—0910・7787(代)

◎事務器・事務用・スチール製品一般
◎紙・文房具・印章・ゴム印
◎各種一般印刷
株式会社 阿部百貨堂
東京都港区芝2丁目21番地19号
電話 (452) 3496～3497

ホーム・メードのケーキとクッキーを
どなたにも、少しの手間でおいしいお菓子が作れます
会費一回六〇〇円（含材料代）
一回約二時間（作ったお菓子はお土産に）
ご希望の方は、いつからでもどうぞ。
目黒区自由丘2—5—3
神津江以子（2D）
TEL (717) 五二五九

支部だより

●印は支部所在地



連絡先

札幌5エ　臼井　和子
東北1E　海鋒　歌
浦和1C　宮田　りき
千葉11オ　豊住　美枝
湘南14オ　桑原　可子
静岡1A　谷口百合子
名古屋4エ　小川　安子
（夏、冬休みは下記へ）　武蔵市吉祥寺北町四丁目二の八
関西1D　佐々木文子　神戸市東灘区本山町岡本字長子三一
京都5オ　石川　京子　京都市上京区御苑町
福岡2E　冨田　保子　福岡市箱崎貝塚公団住宅五四五
大分2B　有木　綾子　大分市鶴崎局内三佐二三三〇
札幌市南十七条西十二丁目
仙台市旭ケ丘二二三七一二七
埼玉県浦和市東仲町三〇一二〇
市川市中山町一一五三七
鎌倉市雪の下二一五一三六
静岡市東草深町一六一一
名古屋市千種区御棚町三一二九

連絡先

目標として一路邁進され喜寿を迎えられたころも、矍鑠たる先生はお年のこと喜寿の祝のことなどを申し上げると抵抗をお感じのようでした。

お元気とはいえ週二十二時間の授業がどんなに無理であったか……精神力では如何ともならず遂に四十三年二月に急に言語障害で休養。現代医学でも治療しがたいまでに消耗されたとの診断とか呆然とするのみでした。三月御退職。

先生は目標の二十年の達成の満足感も語れず、今後の方針も考える能力も喪失されたかの様にただニコニコと新聞、雑誌の赤線ひきが日課とか、あの達筆な先生に筆談さえかなわないとは……。

秋には日常のことも御不自由になられ十二月十四日十回生の御骨折りで芙蓉園に入園。整った設備のホームに老人ばかりの社会で平和に何の気兼ねもなく行届いた専門家の方々の親切なお世話で快よい日々を過されました。

入園後満一年園長様に御便りをしたところ衰弱のため病院に移るとの御返事をいただいたのが十二月十五日。

其の後急に容態悪化病院生活一週間で御逝去。最後はお苦しみもなく安らかになくなられましたとのことはせめてもの慰めです。

一月十五日三七日の御法要の後十八日には早く先だたれた最愛の御夫君のもと高崎の菩提寺（光明寺）に埋葬されますとのこと御冥福を祈ります。

仙台

新らしい年、昭和四十五年を迎えました。私共海鋒様（一回）を中心に皆元気に朗らかに暮しております。昨年、春には見事な色とりどりの薔薇の咲きほこる四回高井様のお宅に集まり、また秋には十一月の十三日お天気のよい半日を秋の東北ワカバ会を開きお食事を共にしながら楽しいひとときをすごしました。新会員の方お二人を迎えましたり、遠く福島の岳温泉や山形からも来て下さいましたので二十七人も集まり、少し会場がせまくて申し訳ない程でした。お目にかかれば卒業の回数は違ってもたちまち和やかな空気が満ち、どなたとも御話がはずみ笑い声で一ぱいになります。御名前の解らない方もありますので卒業回数と名前を書いた札を各自の前におき、又食事のすんだ後はお膳をかたづけ輪を小さくして御話するうちたちまち時間がたってしまいます。春には大変よく東北ワカバ会のお世話をして下さいました二十一回宍倉様が東京へ御転勤、二十回水間様がアメリカへと少し淋しくなりましたが、新会員の方や一度東京へいらっしゃって再びこちらに帰ってこられた方もあり嬉しくなります。今度岩手の花巻におすまいの十四回奥野様が図画の高橋先生をおつれして下さいますとの事、何より嬉しく次の会を心楽しくしております。

14エ　岩本美津子
14イ　松崎　京子

浦和

この土地に移り住んで来た時はまだ北足立郡浦和町であって、こんな所へ一生腰を落付ける事になってしまったのかと誠に心細い気持だった。第六高女卒業生等勿論他には誰もいない、東京から遠い遠い片田舎であった。昭和八年の秋だった。これが戦争を中に前後して増えていったが同窓生とはいっても顔も知らない。東京に近くてクラス会等へも上京するので、さして友達に飢える事もないから名簿を見てもこんな方が居られると思うだけ。埼玉同窓会が何時から開かれるようになったのかすっかり忘れてしまった。私はぬしの様な存在から、これもいつの間にか支部長という事になってしまった。この支部長忙しいのをいい事にして名前だけ。何もしないで中村さん他皆々様に御世話ばかりかけている。爾来十余年、度々同窓会が開かれるようになり度重なる会合に年代が異っても次第に親しみもなつかしさも増し、初めは県全体で何名であったのが、最近は一時間以内で集まれる範囲の方だけ通知を出そうか等大きく出られる程増加したが、それも何名なのか人数もお恥かしい事に知らない。でもお蔭で平穏無事に過させていただいている。われわれ元祖は、もう還暦も間近く脳の硬化も初まって来ようとしているが、同窓会とはおばあさんの茶のみ会でなく、若い方が集まって年寄り共が振りまわされたらどんなに楽しい事か。それこそ老いも若きも男も女も集まって、フレッシュな感覚と種々雑多な人生経験とを交換しあい、なごやかな自由な知性豊かな会にしたいものと考えている。

1C　宮田リキ子

湘南

昨年は、観光地区の当地でも、時折、異様な風景が見られました。

一〇・二二の時には、拙宅に近い鶴ケ岡八幡宮の境内に、楯を持った機動隊三十人余りが木蔭に待機するなど、お詣りかたがた犬の散歩の私は、びっくり目をみはったものです。それでも休日などにはレジャーを楽しむ若人の姿が、中年の家族連れや外人観光客より多く、もの侘びた寺院の庭園などに見られました。ジーパンもパンタロンも、老松や蓮池に映る柳のたたずまいの中にしっくり調和してしまう時が来たのでしょう。犬を連れていると土地っ子ということが一目瞭然らしく、よく道を尋ねられますが、近頃は二十才そこそのアベックの方々に、寿福寺・浄智寺・覚園寺等、バスの観光コースにない古寺を尋ねられ、『断絶』をきけばマスコミの声に不審をおぼえることもあります。

四十四年度湘南ワカバ会は、五月二十七日に、江の島海岸の公務員共済会館向洋荘にて、9回イの竹下さん、15回ウの北村さん、14回アの白井さん、等の幹事により催され、四十人以上もお集りの盛会でした。近代的若奥様達の生活に根ざしたお話は、先輩夫人の貴重な体験のお話と共に和合し、この日の『世代の断絶』も消されてしまいました。四十五年度は、15回村上さん等の幹事で、追って月日を選び催される予定です。

14オ　桑原可子

名古屋

名古屋ワカバ会は大矢万喜子様のお陰で非常にこぎやかで楽しい集りをさせていただいておりました。昨年も二回、初夏に地もとの3回生野本様の御好意で楽しませていただきました由。その時は大矢様は持病になられたセンソクで御入院私も丁度学生をつれての見学に出かけて参加出来ませてでした。そのため人数は十人足らずになりました。その後当番の方のお力で十一月十三日に再び開催される予定になりました所、大矢様も全快して参加のおハガキがあり当番の方方も今度はたのしみにしておりましたら、会合の前々日突然の大矢様御なくなりになったお電話で告別式に参加させていただきました。お集りの日に皆様にお知らせする様になり喜んで参加するおハガキを眺めてただただびっくりの一語につきる有様でした。突然の発作でそのまま亡くなられました由、お子様もおいでにならなかった大矢様の御主人様のおなげきをお妹さまからおききになられた方からうかがい毎回会をにぎわせて下さった大矢様の朗らかな笑ごえを思い出しております。丁度中京といわれる十地で大阪、東京の間の故か同窓の方方は御主人様の転勤が多くて移動が多うございますがそれでもかえって見学に試食に話題にと小集会がくりかえされています。とうぞお移りの節はお知らせ下さいませ。

4エ　小川安子

京都

ワカバ会京都支部はあまり人員の変りもありませんし、お忙しい方が多くお集まりものびびになって久しく開いておりませんでしたが、二年ぶり位で五月にやっと開きました。東山に程近い京都会館の北側で「六盛」という京都料理のお店でした。十七人のお集まりで今年初めまで京都の会員でいらした池内様もわざわざ東京から御参加下さって、殊の外にぎやかな楽しい集いとなり、夕刻の時間ぎりぎりでお話もつきぬままにお別れいたしました。若い年代の方も多勢御出席されましたので、こんどはその方々に計画して頂いて、ハイキングなどしたいなどと申している次第です。今年は万国博も開かれ当地へおいでになる機会も多い事と存じます。御婦人ばかりのお泊りでしたら、京都府婦人センターなど今から御予約になれば気楽にお泊りになれます。小人数ならそのような簡易なお宿もありますから、お役に立てるようでしたらお世話も致します。皆様のお越しをお待ちしております。

1D　米田　道子

関西

関西ワカバ会の昨年一年を振り返ってみますと——

四十四年の新年会は二月一日に宝塚ホテルに四十七名が集り、御食事を共にしながら歓談しました。高校十六回卒の榎本様が大学卒業後すぐに関西に来られ初めて御出席下さいましたが、第六と三田高校の今昔をまのあたりに見た思いでございました。

春は五月十二日に心のふるさと大和路を歩きました。私共の精神がよかったのか雨の間の五月晴に恵まれ、約六キロの道を第六時代の十里遠足で鍛えた足で難無く歩き通しました。奈良は美しい遺跡と緑が多く歩くのも又楽しい所でございます。地理的にも近いので京都の方を御誘いしました所、米田、今井、山本、渡辺様が御参加下さり賑やかでございました。

秋は十一月八日に新年会に御出席いただけなかった関西学院大学教授古武弥正先生の御話を伺いました。心理学が御専攻の先生の御話はユーモアたっぷり終始笑いのうちに精神衛生の御話を聞き和やかな会でございました。

関西在住者約二百名に達し、良き先輩に恵まれて御親切に御世話をして下さいますのは同じ学舎に学んだ者の喜びであると、常に感謝しています。ただ、高校卒の方の御出席が少なく淋しく思っています。御若い方々の御出席を御待ちしております。

14エ　中川　君子
20イ　綿村波瑠美

福岡

福岡の街にも冷たい北風が吹きはじめ混沌とした日々に明け暮れた六九年をあわただしく送って七〇年を迎えました。私共の「まなぶ会」も順調な歩みを続けて居ります。昨年度第一回は、九大理学部沢田教授の「気象の話」を、第二回は薬学部吉村教授の「食品添加物について」折しも福岡を中心に起ったライスオイル事件もあり、皆熱心に興味深く伺いました。第三回は郷土史研究家筑紫豊先生に案内して頂き、香椎宮に詣で、宮司さんも交えて神社の歴史を伺ったり古文書を見せて頂いたりして、福岡の市内に、こんな古い歴史を秘めた由緒ある所があったのかと今更目を見はる思いでした。福岡は昔から大陸との交流の門戸であった土地だけに、史蹟にめぐまれ、尋ねてみたい所がまだまだ沢山あります。第四回は、理学部小野教授（動物）に「動物の社会性」について伺い、統制のとれた動物の社会生活は、我々人間族にとっても耳が痛くなるような面白い御話でした。私共にとっては伺う事すべて耳新らしい事ばかりで、回転の鈍った頭にねじを巻きながら、その都度賢くなって帰って来ます。来年もますます充実した会が特てますよう願っています。

年に一度の新年会、又春秋の折にふれての集りには、一同先輩後輩の年の差も忘れて笑い興じ、また現在のそれぞれの生活を語り合っては、お互に力になってゆけるのも、地方に住む者のみの喜びかと思います。福岡に御転任の方は、2E、冨田様（64〇三八一）に御連絡下さい。

15オ　浜名柳子

大分

菊の花のかおる十一月三日、私共大分ワカバ会支部で松田先生初め六名の者が大分市の田舎庵でお集まりいたしました。七夕様のように年一回秋にお集まりとお話し合いが出来ておりますのでささやかな人数ではございますが、日頃お勤めをお持ちの清水様も祭日なので御出席下さいました。松田先生には御多忙なお仕事の時間をさいて毎回御出席くださいます。私共は在学時代の大昔に返り、昔話しに花が咲き食後は松田先生の御持参下さいました信州産のリンゴを皆でおいしくいただき、夕方近く又をお約束してお別れいたしました。日野さんと岩男さんが御欠席で淋しうございました。先生共八名の小さな支部よりお便り申上げました。

2B　有木

深井先生を悼む

1D　秋山　初枝

深井弥生先生には昨年十二月二十六日原町田の芙蓉病院で逝去されました。行年七十九才。

東京女高師卒業後明石師範、府立第三から赴任され本校創立から約二十年間地理、歴史、作法を教えられました。

先生は明晰な頭脳、強固な意志健康なお体で常に流暢な名講義は教え子のすべての人の心の隅に今なお生きていることでしょう。

生徒指導の面も厳しく常にすきのない御容姿、お言葉で客赦なくきびしく訓育されました。

昭和七年永らく御静養中であった御夫君が他界されました。気丈な先生には御不幸の中から立ちなおられ悲しみを秘めて学校のことに一入打込まれた御様子でした。

本校を退職されてから洗足学園鶴見高校と終始一貫全生涯を女子教育に尽くされました。

先生は鶴見高校に在職二十年を目標として一路邁進され喜寿を迎えられたころも、矍鑠たる先生はお年のこと喜寿の祝のことなどを申し上げると抵抗をお感じのようでした。

お元気とはいえ週二十二時間の授業がどんなに無理であったか……精神力では如何ともならず遂に四十三年二月に急に言語障害で休養。現代医学でも治療しがたいまでに消耗されたとの診断とか呆然とするのみでした。三月御退職。

先生は目標の二十年の達成の満足感も語れず、今後の方針も考える能力も喪失されたかの様にただニコニコと新聞、雑誌の赤線ひきが日課とか、あの達筆な先生に筆談さえかなわないとは……。

秋には日常のことも御不自由になられ十二月十四日十回生の御骨折りで芙蓉園に入園。整った設備のホームに老人ばかりの社会で平和に何の気兼ねもなく行届いた専門家の方々の親切なお世話で快よい日々を過されました。

入園後満一年園長様に御便りをしたところ衰弱のため病院に移るとの御返事をいただいたのが十二月十五日。

其の後急に容態悪化病院生活一週間で御逝去。最後はお苦しみもなく安らかになくなられましたとのことはせめてもの慰めです。

一月十五日三七日の御法要の後十八日には早く先だたれた最愛の御夫君のもと高崎の菩提寺（光明寺）に埋葬されますとのこと御冥福を祈ります。

楽器のご用は河合楽器

ピアノ、オルガン

国産、輸入楽器

渋谷区神南1—11—5

TEL（463）8675

河合楽器東京支店学販課

☆長期分割支払（24回まで）

その他ご相談に応じます。

☆貸しホール、練習場もございます。

春の水泳講習のおしらせ

例年のとおり、三月の末から四月の始めにかけて三田高校プールで小・中・高校生を対象として水泳講習を行う予定ですのでご参加ください。詳細は三月になってからワカバ会にお問いあわせください。（四五一〇二三七）

都立三田高校指定の上履き

カラートレーニングシューズ

新製品体育館内専用靴

GYM COLOR SHOES

製造元　藤倉ゴム工業株式会社

販売代理店　株式会社　大木

謹んで哀悼の意を表します

	名誉会員		昭和44年12月14日
旧職員	西　伊三次	〃	12月26日
1E	深井　弥生	〃	7月8日
6ウ	大野　光子	〃	11月11日
8ア	大矢万亀子	〃	10月4日
12ア	小林　翠	〃	6月17日
13ウ	毛利千枝子	〃	6月9日
14エ	白山　俊子	〃	6月5日
	秋山　和子		